

Keiai University Press

敬愛大学 校友会報 **27**
 >>> 2013 OCTOBER >>> Vol.

発行日／平成25年10月30日

発行／敬愛大学校友会 〒263-8588 千葉市稲毛区穴川1丁目5番21号 TEL 043(284)2387(代)

CONTENTS

- 表紙 ● 敬愛フェスティバル第3回ホームカミングデー 同時開催
 校友会報第27号の発刊にあたって(校友会長 橋本勇市)
- P 2,3 ● 敬愛フェスティバル実行委員長メッセージ
 エクシブご利用案内
 CAMPUS NOW
- 思い出コーナー 鈴木明男 教授
- P 4,5 ● VOICE Keiai
- P 6,7 ● 平成25年度 敬愛大学校友会定期総会について
 (学)千葉敬愛学園 敬愛大学 収支決算
- 裏表紙 ● 敬愛大学AO入試における校友会推薦の特典について
 支部設立について

「バトン」～未来に繋ぐ一歩を踏み出そう～
敬愛フェスティバル2013

お笑いライブ 11/9 sat 11/10 sun

打ち上げ花火
 Marines
 マーくんファミリーがやって来る!
 敬愛フェスティバル実行委員会

お化け屋敷
 敬愛フェスティバル実行委員会

敬愛大学 経済学部・国際学部
 〒263-8588 千葉市稲毛区穴川1-5-21 (稲毛キャンパス)
 TEL 043(252)3619 http://www.u-keiai.ac.jp/

今年のテーマは「バトン」未来に繋ぐ一歩を踏み出そう。これまでの敬愛フェスティバルで築いてきた絆をさらに深め、より多くの方々と繋がっていきたくという思いが託された「バトン」。敬愛フェスティバルが未来に向かって一歩踏み出す瞬間に生まれる感動の瞬間をスタッフが一丸となって創っていきます。先輩方のご来場お待ちしております。

平成25年度 敬愛フェスティバル 11月9日(土)11月10日(日)開催 「第3回ホームカミングデー」同時開催

日程:平成25年11月9・10日
 「敬愛フェスティバル」開催中
 集合場所:校友会テント

一ホームカミングデー(HCD)とは一ホームカミングデーとは、本学を卒業した校友会の会員の方々が学部学科を超えて母校に集い、会員相互の親睦を目的とし幅広い分野での情報交換等を通して母校の発展につなげようというものです。



※写真は昨年の敬愛フェスティバルの様子。

会員の皆様には日頃から校友会活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

敬愛大学は今年度より、経済学部経営学科が新設され、2学部4学科体制となり新たにスタートしました。未来を拓くための人材育成により、本学が更なる発展を遂げることを期待します。

体育活動においては、8月に大阪で開催された少林寺拳法部が千葉県代表として出場するなど、文武両道頑張っております。

なお、校友会では全国各地に住まいの会員の方々との繋がりを更に広めていこうということから新たに2支部の増設を計画しております。是非支部を作りたいという方やグループ等ございましたら事務局へご連絡頂きたいと思っております。

校友会は今後も大学・学生・OBの橋渡し役として活動に取り組んでまいりたいと思っております。これからもご協力のほどよろしくお願い致します。

会長挨拶



第2代 校友会会長
 橋本勇市

校友会報第27号の
 発刊にあたって

敬愛フェスティバルの感動をご一緒に…



※写真は昨年の敬愛フェスティバルの様子。

私たちにとって、学生生活の中で最大のイベント「敬愛フェスティバル2013」は、11月9日(土)と10日(日)の二日間行われます。長かった準備期間も残りわずかとなりました。スタッフ一同、毎日遅くまで大学に残り、皆「大成功」を目標に頑張っています。今までフェスティバルや、学友会活動を通して先輩たちが築いてきた、学校や、地域への絆をより深め、さらに多くの方々と繋がっていききたい。そして、一年後、二年後も愛され続けるフェスティバルにしたい。震災の年でさえ途切れることのなかった絆をこの先もずっと繋げていきたい…という思いから生まれたのが今年のテーマ「バトン」未来に繋ぐ歩を踏み出そうです。



敬愛フェスティバル
実行委員長
桑名 瑞紀

今年の目玉企画は、「二日目(11/9)開催のお笑いライブ。THE MANZ A-2012で優勝した「ハマカーン」と、声田愛菜による人気上昇中の「やしろ優」をはじめ、若手の「マリンJ」が「かきしっぽ」が爆笑ネタを披露してくれます。

そして、二日目(11/10)は毎年恒例の「カオス大会」や、豪華商品が当たるビンゴ大会、ファイナルでは打ち上げ花火がフェスティバルを盛り上げます。その他に、人が入るくらゐの大きなシャボン玉を作る「シャボンファクトリー」や地域団体とのコラボレーションをした「あかりのアーチ」「国際学部のシンポジウム」、JR千葉支店のキャラクター「駅長犬」をはじめ、ちびっくに人気のジェイやマークくんファミリーもやります。

皆様の笑顔に繋がる敬愛フェスティバルになるよう、「楽しい！来てよかった！また来たい！！」と思えるようなフェスティバルにするためにも、スタッフ一同精一杯盛り上げていきますので先輩たちも是非、お友だちやご家族、大切な方と一緒に足を運んでください。

スタッフ一同、心よりお待ちしております。



エキシブホームページ
<http://www.resorttrust.co.jp>

充実の福利厚生 会員制リゾート施設 ご利用ください

予約受付

敬愛大学ホームページより
お申込み下さい。

敬愛大学

検索

卒業生の方へ

校友会の方へ

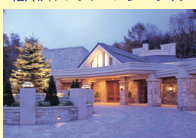
エキシブ会員権利用について

エキシブ宿泊の申込みはこちら

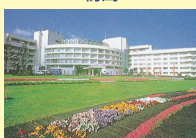
エキシブ予約申込みフォーム

必要事項をご記入の上お申し込み下さい

軽井沢サンクチュアリーヴィラ



初島



白浜アネックス



山中湖



蓼科



浜名湖



琵琶湖



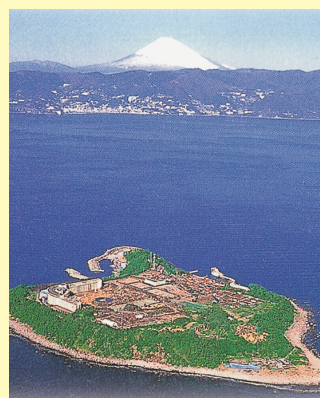
鳴門



校友会は、会員制リゾートクラブを運営するリゾートトラスト株式会社と提携し、福利厚生施設を保有しております。

これにより校友会員の皆様には、高級リゾートアイランドとして有名な『エキシブ軽井沢サンクチュアリーヴィラ及び初島クラブ』など会員制リゾートホテルをリーズナブルな料金でご利用いただけます。

校友会事務局では皆様からのお問い合わせや、予約の対応に当たっています。また、校友会のホームページで、利用できるホテルについての情報や、予約状況の確認ができるようになりました。校友会員であればどなたでもご利用いただけます。家族で、お友だち同士で、カップルでぜひご利用ください。



リゾートの予約について

リゾートトラストエキシブをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

しかしながら、現在所有物件に対する宿泊日数を超過しており、宿泊予約が出来ない状況になっております。誠に勝手ながら、校友会員皆様の施設利用権の公平を期するため、利用内規を作成しているところです。決定次第、校友会ホームページ「新着情報はこちら」へアップさせていただきますので、宜しくお願い致します。

CAMPUS 今年もキャンパスは熱い!!

NOW 大活躍のクラブ紹介!



野球部
県1部リーグで
活躍中!!



9月～10月に行われている大学野球千葉県リーグで、野球部が今季も活躍しました。均衡する試合での5位。1部残留が決定しました。佐倉キャンパス野球場も少しずつ整備が行われ、日々練習に勤しむ後輩たちにご声援ください。



女子バレーボール部
5期連続
リーグ戦完勝



10月6・13日に行われた大学バレー関東リーグ戦で、女子バレーボール部は5期連続で優勝し、6部昇格を果たしました。平成23年度の創部以来、関東リーグでは無敗で勝ち進んでいます。数年後には関東1部リーグにたどり着けそうです。



少林寺拳法部
世界大会に
出場



8月24・25日に少林寺拳法世界大会が大阪市で開催され、少林寺拳法部が千葉県代表として一般団体の部に出場しました。決勝戦での海外チームとの対戦は果たせなかったものの、日頃鍛えた成果を演武で堂々と発揮することができました。

学園が存続し続けること —OB・OG と出会って—

8月下旬、妻とともに隠岐の島を訪れた。ここ6年程手術の繰り返しで衰えた体力がようやく回復し、思い切って遠出してみたものである。島では私のゼミ出身のOBが4日間も付き合ってくれた。議長職を含め議員を40年務めているとのこと。すでに66歳。学生時代からの突然の再会だったが、空港ですぐに本人を認識できた。話の端々から学生時代の思い出と、現在も続いている友情を大切にしていることを窺い知ることができた。

10月上旬、特別会計指導室OB・OGが私の退職を祝う会を開いてくれた。出席者は入室昭和46年から平成7年までの21名。特別会計指導室は私が専任講師として着任した昭和44年、まだ大学の組織が固まっていないうち、公認会計士や税理士受験を目指す学生を集め、なかば強引に空いている部屋を探し出しそのへんにある机・椅子を並べて勉強を始め、事後承諾を得て設置したもので

ある。現在では若い指導教授を得て正規の組織として発展している。集まった諸氏は、学生時代の勉強と友情がどれだけ現在の仕事に役立っているか、を盛んに話題にしていた。年代の差は大きいものの、その隔たりを感じさせないものであった。

どの部面においてもOB・OGにとつて、私は生身の人間であると同時に学生時代や友人・教職員との繋がりを表す象徴であった。そして、象徴としての意味は、それぞれの記憶の中にだけあるのではなく、学生と教職員が生きていける現に存在する大学があつてこそ輝きを増すのである。

平成25年秋の日に

思い出し
コーナー



経済学部・教授
鈴木 明男

母校を愛する気持ちは、松岡修造なみの熱さです!

生活費を自分のバイトでまかなっていた大学時代、お金はなかったけれど、たくさんの学友や恩師に恵まれて毎日楽しくて、良い時代でした。

大きな大学ではなかったので簡単に友達ができまして、私と同じようにバイトを頑張りながら一人暮らしをしている友人が多かったんですよ。そういう仲間たちが誰かの家に集まって、みんなで料理して食べてゴロ寝したりしたのも良い思い出です。

正直に言えば、第一希望で入った大学ではなかったんですが、敬愛大学は、友人にしろ先生にしろ、とても親しみやすい校風があり、入学してからどんどんこの大学が好きになっていきました。

バイト代をためて、長期の休みには、一人旅もよく行きました。佐渡ヶ島、伊勢神宮、金沢など。まさに、大学時代にしか味わえない自由さを満喫。卒業したくなかったくらい、充実した大学時代を送ることができました。

そして、近況を報告させていただきまして、平成24年に母校である敬愛大学に転職し、現在、入試広報センターで学生募集の仕事をしています。



黒田 裕一

経済学部 平成2年度卒業

継続力と忍耐力を培ってくれたテニス漬けの4年間。

大学時代はテニス一筋だった私にとって、一番思い出に残っていることといえば、硬式テニス部を創設したことです。

当時も、テニスサークルはあったことはあったんですが、そこは楽しみ系のサークル。中学からテニスをやっていて、競技スポーツとしてみんなで上を目指すテニスをやりたかった自分は、ゼロから新しい硬式テニス部をつくることにしました。

実は私は大学受験に失敗し、その後2年間は、親に迷惑をかけたばなしの荒れたフリーター生活を送っていました。しかしこのままじゃいけないと念発起し、2年遅れで敬愛大学に入学。遠回りしてもせつかく大学に入ったかぎりには、在学中に人にPRできる何かを成し遂げねばという気持ちも強かったんです。

1年次はまず、部をつくるための組織づくりからスタート。セミの仲間を中心に部員を集め、インターネットで情報収集しながら、県内や都内の他大学のテニス部を訪問して回り、具体的にどんなふうに活動しているのかを教えてもらいました。

経験者の自分がキャプテン&指導者となりながら、しっかり練習して上を目指すクラブができつつあると思ったのも束の間、



小島 健

経済学部 平成19年度卒業

仲間の有難さを教えてくれたフェスティバルの感動。

私は高校卒業後の1年間、歯科助手の仕事をしていたんですが、そこで働くうちに子どもと関わる仕事に就きたいと思うようになり、小学校の教員を目指すことを決意。大学選びでは、オープンキャンパスに行った際、先輩や先生方がとても親身に相談にのってくれた敬愛大学に決めて入学しました。

敬愛大学の思い出といえば、何といってもフェスティバルの実行委員となったことです。1年生でスタッフとなり、2年次には、特別企画部署長に。経済学部と国際学部が初めて一緒に行うフェスティバルだったこともあり、最初のうちはどう進めていったらわけがわからず不安なことばかり。でも、頼もしい先輩方がいつもサポートしてくれて、お笑いライブなど、小さい子からおじいちゃんおばあちゃんまで楽しんでいただく特別企画でフェスティバルを盛り上げることができました。

そして3年次にはフェスティバルの実行委員長となり、二つ目標に向かって一緒に頑張れる仲間の有難さをつくづく実感。一人では何もできないけれど、たくさんのスタッフが協力し合い、助けあうことで、あんな大きなフェスティバルを作り



佐瀬 綾香

国際学部 子ども学科 平成23年度卒業



今の敬愛大学は、社会で役立てる人材づくりのための魅力的な取り組みが多く、若者が目標を見つけてしっかり成長できるだけのコンテンツが揃っています。ですから、第三者にも自信をもってお薦めできるんですよ。

高校生向けガイダンスなどで敬愛大学の話をしていると、いつも松岡修造みたいに熱くなって力が入り過ぎてしまうんですが、大好きな母校を自信をもって紹介できる仕事をしている自分は、幸せだなあと思っています。

実は、私の娘も今年、敬愛大学を受験します。この校友会報を読んでいらっしやる同級生のお子さんが入学されてくるようなことがあったら、嬉しいですね。皆さん、期待していますよ！

間、2年次は挫折の連続。厳しくやっていたので反感を買うことが多く、成績も振るわず、何をやってもうまくいかない苦しい時期が続きました。それが変わったのが3年次の時。千葉県学生テニスリーグで4部優勝・3部昇格を果たし、ようやく敬愛大学硬式テニス部の存在が、学内でも他大学にも認められ始めました。

そして4年次にはとうとう、念願の2部優勝・1部昇格を達成！シングルスもダブルスも出場し、主将としていつも落とせない立場の自分は責任が重かっただけに、この時みんなで勝ち取った団体優勝は、生涯忘れられないほど良い思い出となっています。

辛いことも色々ありましたが、途中で投げ出さずに一つのことをやり遂げることの大切さをここで痛感。強いテニス部をつくりあげるために必死だったあの4年間で、今の自分の武器となっている継続力と忍耐力を養ってくれたと思っています。

卒業後は、某IT企業に5年間勤めたのち、平成24年5月から敬愛大学のキャリアセンターで働いています。硬式テニス部のコーチに卒業後就任し（ずっと）続けて、テニス部後輩へ練習指導、他大学との関係構築、近隣高校との高大連携等様々な活動をしています。（いるため、平成25年の2月に結婚したばかりなのに、ウィークデーには物井キャンパスのテニスコートに出かけてばかりで、嫁さんに怒られているんですよ。）

卒業生の皆さん、稲毛キャンパスには立派な3号館もでき、我が母校は多彩に進化しているのですね、大学祭などの機会には、皆さんもぜひ、遊びにきてください。そして敬愛大学をもっと飛躍させる為、卒業生の皆さんに「相談することもある」とは存じますが、一生懸命職員として卒業生として頑張っていますので、応援宜しくお願い致します。

上げられたことに、心から感動しました。

卒業後は、念願だった小学校の教員となり、教科担任として5～6年生に家庭科を教えています。今ちょうど運動会シーズンなんですが、子どもたちがみんな頑張った組み体操が成功した時など、すごく感動的なんですよ。

仕事で大変なことはもちろん一杯ありますが、敬愛大学でいろんな経験を積めたお陰で、頑張れる今があるんだと思っています。

それに、悩みごとがあると最近でも大学を訪れて相談にのってもらったりしているので、先生方には一生、頭が上がります。あたたかいふるさとのような母校の存在に、今も支えられています。



OB&OG 情報

本大学卒業生の近況や思い出を掲載するコーナーです。編集部では会員の皆様のお便りをお待ちしております。どんなささいな事でかまいません。会報編集室までお送りください。

◎原稿郵送先

〒263-8588

千葉市稲毛区穴川1-5-21

敬愛大学校友会事務局まで

◎敬愛大学ホームページ

<http://www.u-keiai.ac.jp>

◎校友会 e-mail

koukai@u-keiai.ac.jp

お便り
お待ちしております！

第27回 敬愛大学校友会定期総会

平成25年6月30日(日)、「ほてい家」に於いて、第27回(平成25年度)敬愛大学校友会定期総会が開催されました。

司会加瀬喜代治のもと、青山博二副会長による「開会の辞」に始まりまず橋本会長の挨拶が行われました。同会長からは、日頃から活動に尽力されている役員各位への労をねぎらうお言葉がありました。また、今年度は経済学部にも新しく経営学科が増設され、2学部4コースとなりました。入試においては校



友会のご子弟に是非、「校友会推薦枠」を活用してほしいと大学側より資料を送付させていただいた旨のお話がありました。その後、議長橋本会長・書記佐藤曉人氏が選出され式次第に沿って議事に入りました。

第1号議案「平成24年度事業報告」について橋本会長より報告があり、グランドエクシブ会員権の追加購入、千葉ロッテマリンスタジアム年間ボックスシート4席の購入、大学祭・短大祭への参加、卒業記念品の贈呈など主たる事業として行われたことの説明がありました。合わせて海老根一亀氏より敬愛大学佐倉キャンパスに、植54本・百日紅8本の樹木を寄贈いただいたことを、短大事務局長である加瀬喜代治氏より、お礼の報告がありました。

続いて、第2号議案「平成24年度決算報告及び会計監査報告」について会計の海老根一亀氏が報告。会計監査中村英毅氏より監査報告がなされた後、一括審議され、両議案とも満場致で承認されました。

さらに、第3号議案「役員改選」について採択が行われ、海老根一亀氏より留任の提案があり、提案承認により前年度役員の2年間の

任期が承認されました。

続いて、第4号議案「平成25年度事業計画(案)」について橋本会長から、第5号議案「平成25年度予算(案)」について会計の海老根一

亀氏から説明がありました。「特別事業費」に納税とエクシブの名義変更費用、「支部設立準備費」については新たに2支部の設立のための予算、「予備費」は昨年寄贈した樹木の記念碑建立分の費用を上げ承認されました。

第6号議案「その他」については出席者、小野寺氏より現在の大学の定員と校友会推薦枠についての質問がありました。定員は、経済学部230名、国際学部160名。校友会員の血縁者は、入学金全額免除、また校友会員が推薦するもので校友会が承認するものは入学金の半額が免除されます。

最後に、青山博二副会長による

平成24年度 敬愛大学校友会決算書

平成24年度 敬愛大学校友会 決算書

平成24年4月1日～平成24年3月31日

項目	24年度決算(円)	24年度予算(円)	増減(円)
収入の部			
前年度繰越金	3,533,000	3,533,000	0
校友会費	10,650,000	10,650,000	0
繰入金(定期預金)	8,004,832	8,000,000	4,832
貸与返還金	0	120,000	-120,000
雑収入(定期預金利息含む)	86,081	70,000	16,081
合 計	22,287,712	22,373,000	-105,288
支出の部			
定期給金(印刷費)	122,850	120,000	-2,850
(雑費)	518,448	580,000	-61,552
(雑費)	198,360	200,000	-1,640
校友会費(印刷費)	595,779	600,000	-4,221
(雑費)	525,872	580,000	-54,128
大学行事参加・後援費(大学祭)	1,000,000	1,000,000	0
卒業記念品	990,000	1,200,000	-210,000
寄附金返還	78,186	100,000	-21,814
寄附金返還(通費)	45,050	200,000	-154,950
(印刷費)	0	50,000	-50,000
(雑品費)	420,000	800,000	-375,000
(消耗品・交通費)	8,523	200,000	-191,477
ホームページ制作・更新費	608,900	400,000	208,900
校友会会費(訂正・追加費)	0	100,000	-100,000
特別事業費(システム更新)	0	0	0
ホームページ制作・更新費	15,689,416	15,000,000	689,416
ホームページ制作費	19,867	300,000	-280,133
特別基金	0	0	0
支部設立準備費	0	500,000	-500,000
予備費	133,080	133,080	0
合 計	20,536,256	22,373,000	-1,836,744

※次年度繰越金(収入22,287,712円ー支出20,536,256円＝1,751,456円)
合計監査(1)監査人を指定した結果、上記のとおり経過していることを認めます。

平成25年5月16日 会計監査 橋井達也
会計監査 中村英毅

平成25年度 敬愛大学校友会予算

平成25年度 敬愛大学校友会予算

平成25年4月1日～平成25年3月31日

項目	25年度予算(円)	24年度予算(円)	増減(円)
収入の部			
前年度繰越金	1,329,469	3,533,000	-2,203,531
校友会費	10,350,000	10,650,000	-300,000
繰入金(定期預金)	0	8,000,000	-8,000,000
貸与返還金	0	120,000	-120,000
雑収入(定期預金利息含む)	30,000	70,000	-40,000
合 計	11,709,469	22,373,000	-10,663,531
支出の部			
定期給金(印刷費)	130,000	120,000	0
(雑費)	580,000	580,000	0
(雑費)	300,000	300,000	0
校友会費(印刷費)	600,000	600,000	0
(雑費)	580,000	580,000	0
大学行事参加・後援費(大学祭)	800,000	1,000,000	-200,000
卒業記念品	1,000,000	1,200,000	-200,000
寄附金返還	100,000	100,000	0
事務経費(通費)	300,000	300,000	-100,000
(印刷費)	50,000	50,000	0
(雑品費)	50,000	800,000	-750,000
(消耗品・交通費)	50,000	200,000	-150,000
ホームページ制作・更新費	500,000	500,000	0
校友会会費(訂正・追加費)	0	100,000	-100,000
特別事業費(システム更新)	2,800,000	15,000,000	-12,200,000
ホームページ制作費	100,000	300,000	-200,000
特別基金	2,000,000	2,000,000	0
支部設立準備費	1,700,000	500,000	1,200,000
予備費	169,469	133,080	36,489
合 計	11,709,469	22,373,000	-10,663,531



※佐倉キャンパスに寄贈した樹木。

「閉会の辞」を以って、今年度の総会は終了しました。総会終了後、12時から懇親会も開催。多数の出席者で懐かしい学生時代のことや現在の仕事のことなど様々な話題で盛り上がりました。次回定期総会は今年よりも多くのご参加をお待ちしています。

学校法人千葉敬愛学園・敬愛大学 収支決算

敬愛大学は、学校法人千葉敬愛学園が設置している学校の一つですが、私立学校法により学校法人会計基準に基づいて作成した財務書類を開示することが義務づけられています。

平成24年度の学園全体および本学の決算報告、ならびに平成25年度の学園全体および本学の予算書を掲載いたしますので、ご覧願いたく存じます。

《平成24年度 学校法人千葉敬愛学園決算報告》

資金収支計算書 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで (単位 百万円)

支出の部 科目	金額	収入の部 科目	金額
人件費支出	3,726	学生生徒等納付金収入	3,276
教育研究経費支出	967	手数料収入	100
管理経費支出	188	寄付金収入	37
借入金等利息支出	59	補助金収入	1,216
借入金等返済支出	250	資産運用収入	58
施設関係支出	8	資産売却収入	526
設備関係支出	103	事業収入	28
資産運用支出	520	雑収入	540
その他の支出	504	前受金収入	1,484
(予備費)		その他の収入	323
資金支出調整勘定	△ 719	資金収入調整勘定	△ 2,008
次年度繰越支払資金	2,557	前年度繰越支払資金	2,583
支出の部合計	8,163	収入の部合計	8,163

消費収支計算書 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

支出の部 科目	金額	収入の部 科目	金額
人件費	3,343	学生生徒等納付金	3,276
教育研究経費	1,485	手数料	100
管理経費	202	寄付金	51
借入金等利息	59	補助金	1,216
資産処分差額	6	資産運用収入	58
徴収不能額	0	資産売却差額	6
徴収不能引当金繰入額	23	事業収入	28
		雑収入	190
消費支出の部合計	5,118	帰属収入合計	4,925
当年度消費支出超過額	490	基本金組入額合計	△ 297
前年度繰越消費支出超過額	6,314	消費収入の部合計	4,628
基本金取崩額	0	帰属収支差額	△ 193
翌年度繰越消費支出超過額	6,804	消費収支差額	△ 490

貸借対照表 平成25年3月31日

資産の部 科目	金額	負債・基本金・消費収支差額の部 科目	金額
固定資産	14,758	固定負債	3,143
有形固定資産	12,992	流動負債	2,688
その他の固定資産	1,766	基本金	19,248
流動資産	3,517	消費収支差額	△ 6,804
資産の部合計	18,275	負債・基本金及び消費収支差額合計	18,275

【平成24年度決算の概要】

学校法人千葉敬愛学園の平成24年度決算は、監事の監査及び公認会計士の監査を受け、平成25年5月30日(木)の理事会及び評議員会において審議の結果、別表の通り決定しました。

消費収支計算書を平成23年度決算と比較してみると、帰属収入が2,600万円増の49億2,500万円となっています。学納金減少の中、私大退職金財団交付金収入等の増収増が主な要因です。

一方、消費支出は、前年度比1億1,100万円減の5億1,800万円となっています。主な要因は、人件費(退職金関係を除く)前年度比9,300万円の減、教育研究経費6,300万円の減等です。資産処分差額の600万円は廃棄図書によるものです。徴収不能引当金繰入額は、前年度比2,800万円減の2,300万円です。対策としての経済的に修学困難な学生に対する授業料減免制度は一定の効果を上げていますが、中途退学者(含除籍)が依然として多い状況にあります。

基本金は、自己資金による取得資産、未払金、借入金返済額及び除却した資産を差し引いた2億9,700万円の組入れを行いました。

帰属収支差額は、前年度から1億3,700万円改善し、1億9,300万円の支出超過、消費収支差額は、前年度から1億3,200万円改善し、4億9,000万円の支出超過となっています。

平成24年度は、第4次中期経営計画(5ヵ年)の中間年度にあたり、最重要課題である財政健全化実現のため種々の対策が講じられ、第4次経営計画から乖離した状況より転換が図られました。

今後も財政健全化に向け、最大の課題である学生・生徒の確保に向け取り組みを進めているところです。

《平成25年度 学校法人千葉敬愛学園予算書》

資金収支計算書 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで (単位 百万円)

支出の部 科目	金額	収入の部 科目	金額
人件費支出	3,127	学生生徒等納付金収入	3,273
教育研究経費支出	994	手数料収入	105
管理経費支出	265	寄付金収入	30
借入金等利息支出	55	補助金収入	1,131
借入金等返済支出	250	資産運用収入	38
施設関係支出	27	資産売却収入	710
設備関係支出	78	事業収入	25
資産運用支出	710	雑収入	228
その他の支出	783	前受金収入	1,484
(予備費)		その他の収入	631
資金支出調整勘定	△ 337	資金収入調整勘定	△ 1,861
次年度繰越支払資金	2,399	前年度繰越支払資金	2,557
支出の部合計	8,351	収入の部合計	8,351

消費収支計算書 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

支出の部 科目	金額	収入の部 科目	金額
人件費	2,959	学生生徒等納付金	3,273
教育研究経費	1,500	手数料	105
管理経費	280	寄付金	37
借入金等利息	55	補助金	1,131
資産処分差額	0	資産運用収入	38
徴収不能引当金繰入	13	資産売却差額	0
		事業収入	25
		雑収入	244
消費支出の部合計	4,807	帰属収入合計	4,853
当年度消費支出超過額	248	基本金組入額合計	△ 294
前年度繰越消費支出超過額	6,804	消費収入の部合計	4,559
翌年度繰越消費支出超過額	7,052	帰属収支差額	△ 46

※学園の財務内容は学園ホームページでもご覧になることができます。(http://gakuen.u-keiai.ac.jp)

《平成24年度 敬愛大学決算報告》

資金収支計算書 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで (単位 百万円)

支出の部 科目	金額	収入の部 科目	金額
人件費支出	1,166	学生生徒等納付金収入	1,456
教育研究経費支出	524	手数料収入	19
管理経費支出	93	寄付金収入	10
借入金等利息支出	21	補助金収入	293
借入金等返済支出	75	資産運用収入	25
施設関係支出	3	資産売却収入	206
設備関係支出	67	事業収入	11
資産運用支出	205	雑収入	110
その他の支出	82	前受金収入	816
		その他の収入	50
資金支出調整勘定	△ 167	資金収入調整勘定	△ 973
次年度繰越支払資金	968	前年度繰越支払資金	1,014
支出の部合計	3,037	収入の部合計	3,037

※ 前年度繰越支払資金は平成24年度帰属収入按分により計上しています。

消費収支計算書 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

支出の部 科目	金額	収入の部 科目	金額
人件費	1,163	学生生徒等納付金	1,456
教育研究経費	733	手数料	19
管理経費	102	寄付金	17
借入金等利息	21	補助金	293
資産処分差額	5	資産運用収入	25
徴収不能額	0	資産売却差額	1
徴収不能引当金繰入額	23	事業収入	11
		雑収入	111
消費支出の部合計	2,047	帰属収入合計	1,933
当年度消費支出超過額	228	基本金組入額合計	△ 114
前年度繰越消費収入超過額	1,990	消費収入の部合計	1,819
基本金取崩額	0	帰属収支差額	△ 114
翌年度繰越消費収入超過額	1,762	消費収支差額	△ 228

【平成24年度決算の概要】

平成25年5月30日(木)大学2号館で理事会・評議員会が開催され、平成24年度決算が承認されました。

消費収支計算書を平成23年度決算と比較してみると、帰属収入が1,700万円減の19億3,300万円となっています。主な要因は、学生数の減少による学生生徒等納付金の減収です。一方、消費支出は20億4,700万円と前年度より3,300万円の減額となりました。主な要因は、教育研究経費の減などです。

基本金は、自己資金による取得資産、未払金、借入金返済額及び除却した資産を差し引いた1億1,400万円の組入れを行いました。

平成24年度決算での帰属収支差額は、1億1,400万円の支出超過となりました。

現在引き続き、「学生の集まる大学」を目指して、大学改革、学生募集の強化を進めているところです。

《平成25年度 敬愛大学予算書》

資金収支計算書 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで (単位 百万円)

支出の部 科目	金額	収入の部 科目	金額
人件費支出	1,047	学生生徒等納付金収入	1,403
教育研究経費支出	513	手数料収入	23
管理経費支出	88	寄付金収入	8
借入金等利息支出	20	補助金収入	255
借入金等返済支出	75	資産運用収入	18
施設関係支出	10	資産売却収入	280
設備関係支出	18	事業収入	10
資産運用支出	280	雑収入	68
その他の支出	160	前受金収入	816
(予備費)		その他の収入	130
資金支出調整勘定	△ 131	資金収入調整勘定	△ 938
次年度繰越支払資金	961	前年度繰越支払資金	968
支出の部合計	3,041	収入の部合計	3,041

※前年度繰越支払資金は平成23年度帰属収入按分による計上しています。

消費収支計算書 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

支出の部 科目	金額	収入の部 科目	金額
人件費	1,014	学生生徒等納付金	1,403
教育研究経費	721	手数料	23
管理経費	96	寄付金	13
借入金等利息	20	補助金	255
資産処分差額	0	資産運用収入	18
徴収不能引当金繰入	13	資産売却差額	0
		事業収入	10
		雑収入	78
消費支出の部合計	1,864	帰属収入合計	1,800
当年度消費支出超過額	122	基本金組入額合計	△ 58
前年度繰越消費収入超過額	1,762	消費収入の部合計	1,742
翌年度繰越消費収入超過額	1,640	帰属収支差額	△ 64

敬愛大学AO入試における校友会推薦の特典について

18歳人口の急激な減少、長引く景気低迷により、多くの大学では次第に学生の確保が困難になってきております。

このような深刻な状況に、敬愛大学と校友会も強い危機感を抱いております。校友会では、母校敬愛大学の発展のために大学との連携を強化し、入学志願者の確保を目指し、敬愛大学AO入試において、校友会推薦制度を改正しました。内容につきましては右記をご参照ください。

会員の皆様方の身近に受験を控えている学生がいらいやいましたら、「敬愛愛人」の素晴らしい建学の精神に貫かれた敬愛大学を志願されるようお勧めいただきたく、よろしく願いいたします。

問い合わせ 入試広報センター

●敬愛大学……………☎043-284-2486

AO入試の志願に際しては優遇措置を確実に履行するため校友会員との続柄を入試事務室にお知らせ下さい。

1 主 旨

校友会推薦は、校友会員(準会員含む(1)のみ対象)が母校の教育理念を理解・継承させたい者について校友会の承認を得て志願させることができる制度である。

2 優遇措置

校友会推薦による合格者に対して次の優遇措置を実施する。

- (1) 校友会員の子息・子女、弟・妹および甥・姪に対しては**入学金を全額免除**する。
- (2) (1)に該当する者を除き、特に校友会員の推薦する者に対しては**入学金の半額を免除**する。

3 出願資格

校友会推薦によって出願できる者は、次に該当する者とする。

校友会員の子息・子女、弟・妹、甥・姪および**校友会員が推薦する者で、校友会が承認する者**。

4 手 続 き

校友会事務局に推薦用紙をご請求ください(校友会々員の署名・捺印が必要です)。

5 対象入試

AO入試の出願資格を有し、本学を専願とする者(詳細については入試広報センターへお問い合わせください)。

6 そ の 他

1名の校友会員がこの制度により志願させることができる者は、当該年度1名とする。

2014年度 経済学部・国際学部 入試日程

●AO入試 ※サテライト会場につきましては、大学HPをご覧ください。

入試区分	会場	出願期間	試験日	合格発表日
◆4期	稲毛キャンパス	11/20(水)～ 12/4(水)	12/7(土)	12/11(水)
	※ サテライト会場	10/24(木)～11/12(火)	11/16(土)	11/20(水)
5期	稲毛キャンパス	1/30(木)～ 2/19(水)	2/21(金)	2/25(火)
	※ サテライト会場	1/30(木)～ 2/18(火)	2/21(金)	2/25(火)
◆6期	稲毛キャンパス	3/3(月)～ 3/18(火)	3/20(木)	3/20(木)

(注)「こども学科」は◆印(4期・6期)のみ実施。ただし、サテライト会場入試は実施しません。

●推薦入試

入試区分	会場	出願期間	試験日	合格発表日
指定校推薦2期	稲毛キャンパス	11/19(火)～ 12/4(火)	12/7(土)	12/11(水)
	※ サテライト会場	2/3(月)～ 2/18(火)	2/21(金)	2/25(火)
指定校推薦3期	稲毛キャンパス	2/19(水)～ 3/12(水)	3/14(金)	3/17(月)
公募推薦1期	稲毛キャンパス	10/24(木)～11/13(水)	11/16(土)	11/20(水)
	※ サテライト会場	10/24(木)～11/12(火)		
公募推薦2期	稲毛キャンパス	2/3(月)～ 2/19(水)	2/21(金)	2/25(火)
	※ サテライト会場	2/3(月)～ 2/18(火)	2/21(金)	2/25(火)
系列校推薦2期	2/19(水)～3/12(水)		3/14(金)	3/17(月)

●一般入試

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日
1期	1/14(火)～1/29(水)	2/1(土)	2/6(木)
2期	1/30(木)～ 2/19(水)	2/21(金)	2/25(火)
3期	2/20(木)～ 3/12(水)	3/14(金)	3/17(月)

●留学生入試

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日
留学生(一般・指定校推薦)1期	11/6(水)～11/26(火)	11/30(土)	12/5(木)
留学生(一般・指定校推薦)2期	1/14(火)～ 2/4(火)	2/8(土)	2/13(木)
◆留学生(一般・指定校推薦)3期	2/10(月)～ 2/28(金)	3/4(火)	3/6(木)

◆3期は国際学科のみ実施。

●帰国生・社会人入試

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日
帰国生・社会人1期	11/6(水)～11/26(火)	11/30(土)	12/5(木)
帰国生・社会人2期	1/14(火)～ 2/4(火)	2/8(土)	2/13(木)

●編入学入試

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日
編入学(協定校1期)	11/12(火)～11/27(水)	12/7(土)	12/11(水)
編入学(一般・協定校2期・系列)	1/14(火)～ 2/4(火)	2/8(土)	2/13(木)

●センター試験利用入試

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日
系列校1期	1/9(木)～ 2/7(金)	本学独自の試験は実施しません	2/19(水)
1期	12/17(火)～ 2/4(火)		2/13(木)
2期	2/5(水)～ 2/28(金)		3/5(水)
3期	3/3(月)～ 3/18(火)		3/20(木)
4期	3/14(金)～ 3/25(火)		3/26(水)

●センター試験利用・特待生入試

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日
センター試験利用・特待生入試	2/5(水)～ 2/28(金)	3/3(月)	3/5(水)

支部設立について

前出の会長の挨拶にもありましたが、校友会では茨城・長野に敬愛大学の卒業生が多いことから、この2県に支部の設立を計画しております。

現在、さまざまな活動や行事・催事の内容など本部で計画し実行することになっているところですが、全国に広がる卒業生との交流をさらに深め意見交換やアイデアの提供などを頂きながら大学と校友会の発展に繋がりたいと思います。

ただ今、役員や有志の皆さんと準備を進めておりますが、設立にあたっては、当地にお住まいの方のご尽力が必要不可欠だと考えています。

つきましては、2県在住の卒業生でサポートしていただける方を募集しております。

お問合せやご質問がございましたら、校友会事務局会計 海老根までご連絡下さい。

事務局
☎043-1284-12387
メール
ehine@u-keiai.ac.jp